

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を11月3日に伊勢市表彰条例に基づき第11回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年公平委員として公正な人事行政の確立に尽力された（1名）
- ・ 多年地区自治会長として地域住民の福祉の増進に寄与された（1名）
- ・ 多年学校医として児童の健康管理に尽力された（1名）
- ・ 多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（5名）
- ・ 多年民生委員・児童委員として社会福祉の向上に寄与された（1名）
- ・ 多年保護司として更生保護活動の向上に寄与された（1名）
- ・ 多年消防団活動に献身的に尽力された（5名）
- ・ 災害・緊急時に市民の生命を守る環境づくりのため多額の御寄贈をされた（1団体）
- ・ 新病院の整備のため多額の御寄附をされた（1名）
- ・ 公共施設の保健衛生並びに市民の学習環境の向上のため多額の御寄贈をされた（1団体）
- ・ 子どもたちの防災環境の向上のため多額の御寄贈をされた（1団体）
- ・ 子どもたちをはじめ広く市民の情操や郷土愛を育む環境づくりのため多額の御寄贈をされた（1団体）
- ・ 厚生小学校の教育環境の充実のため多額の御寄附をされた（1名）

2 伊勢市民文化賞

- ・ 第36回全国高等学校IT・簿記選手権大会IT部門個人の部並びに第8回全国高等学校情報処理選手権大会個人部門で優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第36回全国高等学校IT・簿記選手権大会IT部門団体の部で優秀な成績を収めた（1団体）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・ 第100回日本陸上競技選手権大会女子5,000mで優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 2016年世界クラシックパワーリフティング選手権大会で72kg級スクワットの日本記録を達成した（1名）
- ・ 第32回全国小学生陸上競技交流大会小学6年女子100mで優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第33回全日本小学生ソフトテニス選手権大会男子個人戦ダブルス並びに第15回全国小学生ソフトテニス大会男子5年生の部ダブルスで優秀な成績を収めた（1名）

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・ 旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・ 従四位 元市長（地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の興隆繁栄に寄与するため、次のとおり市長会が開催された。

また、49歳までに当選した市長で構成し、会員間の協調・協力体制の構築を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の興隆繁栄に寄与するため、全国青年市長会が開催された。

1 全国市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
28. 6. 7	全国市長会理事・評議員合同会議 ①自治功労者の表彰について ②第86回全国市長会議の日程及び運営について ③第86回全国市長会議への会則等改正案の提出について ④第86回全国市長会議への提出議案の取扱いについて ⑤第86回全国市長会議への提出決議案等について ⑥次期役員等の選任について	東京都千代田区
28. 6. 8	第86回全国市長会議通常総会 ①会務報告 ②平成26年度全国市長会決算報告について ③平成28年度全国市長会予算承認について ④全国市長会会則改正案等審議 ⑤各支部提出議案審議経過及び結果報告について ⑥決議案等審議 ⑦役員改選	東京都千代田区
29. 1. 25	全国市長会財政委員会・都市税制調査委員会合同会議 ①平成29年度地方税制改正について ②平成29年度地方財政対策について	東京都千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
28. 5. 16	第122回東海市長会役員会 ①平成27年度東海市長会会務報告について ②平成27年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③平成28年度東海市長会歳入歳出予算について ④第122回東海市長会通常総会の日程について ⑤総会の議事運営について	愛知県春日井市
28. 5. 17	第122回東海市長会通常総会 ①平成27年度東海市長会会務報告について ②平成27年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③平成28年度東海市長会歳入歳出予算について ④提出議案の審議 ⑤決議案の審議 ⑥役員改選	愛知県春日井市

28. 10. 12	第 123 回東海市長会役員会 ①第 123 回東海市長会通常総会の日程について ②総会の議事運営について	志摩市
28. 10. 13	第 123 回東海市長会通常総会 ①提出議案の審議 ②決議案の審議	志摩市

3 三重県市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
28. 5. 11	三重県市長会 5 月定例会議 ①三重県市長会平成 28 年度役員等の選任について ②熊本地震の対応について ③東海市長会三重県市長会提出議案等について ④会務報告について	津 市
28. 8. 2	三重県市長会 8 月定例会議 ①平成 27 年度三重県市長会歳入歳出決算について ②平成 27 年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について ③三重県軽自動車税等事務共同処理協議会の委託契約の継続について ④平成 29 年度三重県への要望について ⑤第 123 回東海市長会通常総会要望について ⑥第 123 回東海市長会通常総会の開催日程について ⑦各団体からの市長会への要望等について ⑧市長会の会務報告について	津 市
28. 10. 26	三重県市長会 10 月定例会議 ①平成 29 年度三重県市長会歳入歳出予算について ②平成 29 年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について ③三重県市町村共済組合会議員の選挙について ④市長会の会務報告	津 市
29. 2. 1	三重県市長会 2 月定例会議 ①三重県軽自動車税等事務共同処理協議会平成 29 年度業務委託契約締結について ②平成 29 年度三重県市長会役員等の選任について ③三重県市町村共済組合会議員等の選任について ④第 124 回東海市長会提出議案の取扱いについて ⑤市長会の会務報告	津 市

4 全国青年市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
28. 8. 19	第 30 回全国青年市長会総会 ①第 30 回全国青年市長会総会等日程について ②役員改選について ③次期総会開催市について ④全国青年市長会災害相互応援に関する要綱の一部改正について ⑤全国青年市長会災害相互応援基金について ⑥全国青年市長会 OB 会員について	神奈川県 鎌倉市

情報調査室

○ 調査統計関係

1 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
28. 9. 1 ～28. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象 市内にお住まいの平成13年4月1日以前にお生まれの方（平成28年度中に16歳以上となる方） ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出 ・調査方法 郵送による配布回収 	下記施策等に関することについて ①市民自治、国際交流、男女共同参画、人権 ②運動、スポーツ、文化振興 ③ごみを減らす取り組み ④生活困窮者自立支援制度、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、里親制度、障害者差別解消法 ⑤防災、防犯、消防 ⑥商業、消費生活、観光 ⑦公園、河川、中心市街地 ⑧広報活動 ⑨伊勢市の住みやすさ ⑩取組み全体について	回答者数 1,747人 回答率 49.9%

2 オープンデータの推進

「オープンデータ」とは、行政の透明性・信頼性の向上、市民と行政の協働促進及び地域経済の活性化を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで公開する取り組みで、先進自治体の視察や二次利用可能なルール作り等の検討を行い、「伊勢市オープンデータの推進に関する指針」及び「伊勢市オープンデータ利用規約」を策定し、平成29年3月28日に『伊勢市オープンデータライブラリ』を公開した。（県内市町では6番目）

(1) 視察先 平成28年4月19日 桑名市

(2) 伊勢市オープンデータライブラリ

・登録データ件数 16項目266件（平成29年3月31日現在）

・登録データの特徴

ア 県内市町で初めて、AED等の位置情報をGoogleマップ等で利用しやすい「KML形式」で提供

イ 県内で初めて、「写真データ」（公共施設及び花火大会）をオープンデータとして提供

3 経済センサス-活動調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省・経済産業省）

全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を、全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的として、市内の事業所及び企業に対して、平成28年6月1日現在における従業者数、事業の内容、収入金額等を調査した。

産業横断的集計速報（平成 29 年 5 月 31 日総務省公表）

事業所数	従業者数
6,647 事業所	54,088 人

※産業横断的集計の確報は、平成 30 年 6 月公表予定

4 工業統計調査

（調査周期：毎年、但し経済センサス-活動調査の前年を除く。所管省庁：経済産業省）

工業統計調査は、製造事業所の生産活動などを調査し、製造業の実態を構造的に把握することにより、その生産活動に関する基本的資料を提供することを目的とする。平成 28 年調査については、調査期日が平成 29 年 6 月 1 日に変更されたため、適正な実施に向け、平成 28 年度は諸準備を行った。

5 三重県人口推計調査（調査周期：毎月）

国勢調査による人口、世帯数及び男女数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、毎月の人口を推計した。

平成 29 年 3 月 1 日現在

世帯数	総人口	男	女
51,193 世帯	126,447 人	59,837 人	66,610 人

6 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

学校教育行政上の基礎資料を得るため、平成 28 年 5 月 1 日現在における、市内の公・私立幼稚園、小・中学校等の児童・生徒数、教職員等を調査した。

なお、中学校については卒業後の進路を、私立学校については学校施設等を併せて調査した。

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童 ・生徒数	教員数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公立	園・校 9	人 226	人 18	人 -
	私立	10	867	96	-
小学校	公立	24	6,467	449	56
中学校	公立	12	3,429	265	44
	私立	1	153	17	11
計		56	11,142	845	111

7 市勢統計要覧の作成

伊勢市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の基本的統計データを収録した「2016 年（平成 28 年）版市勢統計要覧」を作成した。

また、e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえ DataBox（三重県所管の統計情報）からデータを取り出し、市ホームページで公開している伊勢市統計データベースを更新した。

8 各種統計調査結果の情報発信

市が保有する統計調査結果を市民にわかりやすく情報発信するため、平成 27 年国勢調査結果について、データの整理とグラフ化を行い、解説を加え、統計レポートを 3 回発行した。

9 統計調査員の推薦

各種統計調査を実施するにあたり、三重県に対して調査員の推薦を行った。

社会生活基本調査	9名
労働力調査	4名
毎月勤労統計調査	2名
商業動態統計調査	2名
国民生活基礎調査	1名

10 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録し、統計調査員を確保することを目的として、広報いせ、市ホームページ等で募集を行った。

平成 28 年度登録者数 10 名（平成 29 年 3 月 31 日現在 282 名）

○ 行政改革関係

1 公共施設マネジメント事業

公共施設等総合管理計画に基づき、全庁横断的な体制のもと公共施設等の総合かつ計画的な管理を行うため、庁内に公共施設等マネジメント推進会議を設置した。また、知識経験を有する者等による附属機関として施設類型別計画検討委員会を設置した。

総合管理計画の実施計画となる施設類型別計画の策定に向け、推進会議の下部組織となる各作業部会や関係部署間での協議と調整を行い、検討委員会の意見を聞きながら、市の考え方を一旦まとめるものとして（素案）の策定作業を進めた。

（1）公共施設等マネジメント推進会議実施結果

回数	実施日	内容
第 1 回	28. 5. 13	・伊勢市公共施設等マネジメント推進会議の設置について ・平成28年度作業スケジュールについて ・伊勢市施設類型別計画検討委員会の設置について ・施設カルテ及び施設評価について
第 2 回	28. 8. 10	・第1次作業案について ・作業部会の設置について ・インフラ資産に係る施設類型別計画（素案）作成の進捗状況について
第 3 回	28. 11. 4	・作業部会の進捗状況について
第 4 回	28. 12. 15	・施設類型別計画（素案）について ・公共施設評価シート及びインフラ資産整備優先度判定シートの修正について ・公共施設に関する市民アンケート調査の結果について
第 5 回	29. 1. 12	・施設類型別計画（素案）について ・公共施設作業部会の設置について
第 6 回	29. 1. 17	・施設類型別計画（素案）策定における今後の進め方について ・最終調整にあたっての確認依頼事項について
第 7 回	29. 1. 24	・施設類型別計画の策定について ・学校跡地利用について

(2) 施設類型別計画検討委員会実施結果

回数	実施日	内容
第1回	28. 5. 30	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢市施設類型別計画検討委員会設置要綱について 委員長及び副委員長の選出について 平成28年度スケジュールについて 公共施設カルテ及び施設評価について
第2回	28. 8. 2	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢市施設類型別計画検討委員会条例及び規則について 第1次作業案について 作業部会の設置について インフラ資産に係る施設類型別計画（素案）策定の進捗状況について
第3回	28.10.25	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設作業部会の進捗状況について インフラ資産作業部会の進捗状況について
第4回	28.12.12	<ul style="list-style-type: none"> 施設類型別計画（素案）について 公共施設評価シート及びインフラ資産整備優先度判定シートの修正について 公共施設に関する市民アンケート調査の結果について
第5回	29. 1. 16	<ul style="list-style-type: none"> 施設類型別計画（素案）について

(3) 作業部会実施結果

名称	実施回数	内容
公共施設作業部会	16	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設カルテについて 各施設の方向性（見直し）について 施設類型別計画（素案）について など
インフラ資産作業部会	7	<ul style="list-style-type: none"> インフラ資産カルテについて インフラ資産整備優先度判定シートについて 各施設の方向性（見直し）について 施設類型別計画（素案）について など

(4) 公共施設に関する市民アンケートの実施

今後の公共施設のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的として、公共施設に関する市民アンケート調査を実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
28. 6. 28 ～ 28. 7. 19	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象 市内にお住まいの平成13年4月1日以前にお生まれの方（平成28年度中に16歳以上となる方） 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出 調査方法 郵送による配布回収 	下記施策等に関することについて ①公共施設の利用状況（利用回数、利用が少なかった理由） ②老朽化問題に取り組むことの必要性 ③伊勢市公共施設等総合管理計画の認知度 ④公共施設の建て替え費用に対する市民の費用負担 ⑤老朽化問題に取り組むにあたっての今後の方策 ⑥施設数を削減する際の優先順位 ⑦特に力を入れて取り組むべき施策	回答者数 1,573人 回答率 44.9%

(5) 公共施設等マネジメント職員研修の実施

公共施設等総合管理計画の実施計画として、各施設の今後の管理方針を定める施設類型別計画の策定を進めていくにあたり、職員を対象に今後の取組への理解と知識を深めるため、先進自治体の職員を講師に招き研修を実施した。

実施日 平成 28 年 11 月 2 日

講師 秦野市政策部公共施設マネジメント課長

テーマ 公共施設更新問題への挑戦

内容 ・公共施設の老朽化問題への取組みの必要性
・将来の公共施設の方向性の導き出し方 など

参加者 公共施設の所管課及び関係課 課長および担当係長 75 人

(6) 公共施設カルテ及びインフラ資産カルテの作成

市が保有する約580の公共施設を対象に設置目的や耐用年数、延床面積、耐震化の状況などの基本情報をはじめ、利用状況、管理運営に係るコスト情報、大規模改修等の履歴などの管理情報等を整理した「公共施設カルテ」を所管課において作成した。

また、インフラ資産はそれぞれに個別の台帳を有しており、それによって管理を行っているが、全体を把握することができるように個々の台帳から情報を抜き出し、分類ごとに見やすく整理し、「インフラ資産カルテ」を所管課において作成した。

作成基準日 平成 28 年 4 月 1 日

(7) 市民への周知

公共施設等総合管理計画を推進するにあたっては受益者の理解が必要であるため、本計画の内容や必要性について、市民の理解を得られるよう周知を行った。

- 〈周知方法〉
- ・公共施設等総合管理計画を各自治会や各まちづくり協議会等へ配布
 - ・本計画及び概要版を閲覧用として主要な公共施設へ設置するとともに市 HP へも掲載
 - ・広報いせ シリーズ「公共施設等の総合的な管理に取り組みます (①～③)」を 5/1 号、6/1 号、7/1 号へ掲載

2 行財政改革推進事業

(1) 行財政改革指針取組項目の進行管理

平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目（取組期間：平成29年度までの4年間）の進行管理を行った。

担当所属から平成 27 年度の実施結果を取りまとめ、行政改革推進委員会及び市議会(各常任委員協議会)に報告した。また、この取組結果については、ホームページを通じ市民に公表した。

第 1 回行政改革推進委員会

実施日 平成 28 年 5 月 16 日

内容 行財政改革指針に基づく取組項目の平成 27 年度実施結果について

(2) 窓口業務の民間委託

戸籍住民関係窓口業務の民間委託について、平成28年5月に来庁者を対象に実施されたアンケートの結果から、窓口サービスに対する高い評価が維持されていることが確認できた。

また、新規委託の方向性について、国民健康保険窓口業務を対象として、先進自治体の視察を行うとともに他団体の実施状況や戸籍住民関係窓口業務の検証結果を踏まえ検討した。

現時点における国保窓口業務については、委託における効果が高いとは言えず、課題もみられることから、今後の窓口業務の状況及び委託を取り巻く環境の変化等をみながら、時期をみて再度検討することとした。

今後も引き続き、窓口業務の民間委託の方向性について、調査研究を進めることとした。

〈視 察〉

実施日 平成29年 2月23日

視察先 大阪府寝屋川市健康部保険事業室

内 容 国民健康保険窓口業務委託について

(3) 市民サービス向上のための窓口業務等の改善

市民サービスの向上を目指し、庁内に設置した窓口業務等検討会において、庁舎改修後の市役所1階の案内表示等について管財契約課との意見交換を行った。

企 画 調 整 課

1 伊勢市ふるさと応援寄附金

平成20年4月30日に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充（「ふるさと納税」の導入）されたことを受け、同年7月4日に「伊勢市ふるさと応援寄附金」制度を導入し、本年度も引き続き寄附の受入を行った。

- ・寄附受領件数： 1,504 件
- ・寄附受領金額： 50,237,177 円
- ・受領した寄附の目的別内訳

事業区分（活用先）	件数	金額
命を最優先に考えるまちづくり	177	3,790,000
やさしさと感謝の気持ちを継承するまちづくり	182	3,580,090
豊かさを実感できるまちづくり	90	1,890,000
市民がまちに誇りを持ち、観光と市民生活が調和したまちづくり	254	5,720,000
市立伊勢総合病院の充実	127	9,395,800
育英基金	201	4,697,000
市政全般（特に指定しない）	460	10,466,000
具体的に用途を指定したい方、複数目的指定	13	10,698,287
計	1,504	50,237,177

2 第2次伊勢市総合計画の進行管理

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、様々なまちの課題の解決に向けて、市としてどう取り組んでいくかという方針を示すことを目的に平成26年に策定した第2次伊勢市総合計画の進行管理を総合計画審議会における審議を経て実施した。

【伊勢市総合計画審議会】

(1) 委員

- ・構成：15名
- ・任期：平成28年9月5日～平成28年11月11日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】28.9.5	・諮問 ・進行管理について	東庁舎 4-3 会議室
【第2回】28.10.11	・進行管理について	東庁舎 4-3 会議室
【第3回】28.11.7	・進行管理に係る答申案について	本庁舎 4-5 会議室
28.11.11	・答申	—

3 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

まち・ひと・しごと創生法に基づき、「伊勢市人口ビジョン」を踏まえて策定した「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理を行うため、産官学金労言の各分野15名の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。

【伊勢市まち・ひと・しごと創生会議】

(1) 委員

- ・構成 : 15名
- ・任期 : 平成28年6月28日～平成30年6月27日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 28. 6. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・正副会長選出 ・諮問 ・地方創生交付金を活用した事業の効果検証について 	東庁舎 4-2 会議室
28. 7. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・答申 	—
【第2回】 29. 1. 31	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について 	本庁舎 4-5 会議室
29. 2. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・答申 	—

4 総合教育会議の開催

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議を開催し、「伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱」を改定した。

【伊勢市総合教育会議】

(1) 構成

市長及び教育委員会

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 28. 7. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱の改定について 	小俣公民館 2階学習室
【第2回】 28. 9. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱の改定について 	東庁舎 4階 第2会議室
【第3回】 28. 11. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱の改定について 	東庁舎 4階 第2会議室
【第4回】 29. 1. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱の改定について 	小俣公民館 2階学習室

5 定住自立圏構想の推進

定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圈や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更を行った。

また、取組内容の拡充を図るため、圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会における協議等を経て、定住自立圏形成協定の変更を行った。

【伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会】

(1) 委員

- ・構成 : 17名
- ・任期 : 平成27年4月1日～平成29年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】28.6.7	・伊勢志摩定住自立圏の推進体制等について ・伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン変更(案)について ・圏域の現状と課題について	委員会室
【第2回】28.12.13	・来年度の新規取組等について ・各取組の進捗について ・今後のスケジュールについて ・圏域の現状と課題について	伊勢市観光文化会館 4階大会議室

【伊勢志摩定住自立圏推進協議会】

(1) 委員

- ・構成 : 各市町長8名

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】28.12.26	・定住自立圏形成協定の項目追加について ・伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの取組の現状 ・伊勢志摩定住自立圏についての情報交換及び提案	鳥羽商工会議所 3階かもめホール

6 伊勢地区地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき、合併前の旧4市町村の協議により旧市町村の区域を単位として設置が定められた地域審議会のうち、旧伊勢市の区域に係る伊勢地区地域審議会を次のとおり開催した。

【伊勢地区地域審議会】

(1) 委員

- ・構成 : 20名 (うち公募委員5名)

- ・任期 : 平成28年4月1日～平成30年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】28.10.4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付 ・正副会長の選出 ・情報交換 	東庁舎 4-3 会議室

7 宮川流域連携

宮川流域ルネッサンス協議会（平成12年6月9日設立：1市6町、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会）に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動に取り組んだ。

【活動状況】

- ・宮川親子デイキャンプ（対象者：小学1～4年生の児童とその保護者）
開催日：平成28年7月30日（土） 場所：度会町
- ・宮川流域子ども川サミットin明和（対象者：小学5～6年生）
開催日：平成28年8月18日（木） 場所：明和町
- ・宮川流域いっせいきリーン作戦
開催日：平成28年10月23日（日） 場所：度会町
- ・宮川流域で植樹をしよう！
実施日：平成28年11月27日（日） 場所：大台町
- ・宮川プロジェクト講演会&活動者懇談会
開催日：平成29年1月28日（土） 場所：大台町
- ・水質チェックの実施
実施日：平成28年5月～平成29年2月の最終日曜日 場所：宮川流域23か所

8 広告事業

(1) ネーミングライツ

本市が所有する施設の愛称を命名する権利を売却し、市の新たな財源を確保し、その対価を活用して持続可能な施設の運営と施設サービスの維持・向上を図るため、ネーミングライツの制度を導入した。

	伊勢市観光文化会館	伊勢市倉田山公園野球場
命名権者	シンフォニアテクノロジー株式会社	株式会社ダイム
施設の愛称	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	ダイムスタジアム伊勢
命名権料	年額500万円（税込み）	年額300万401円（税込み）
命名権付与期間	29. 4. 1～39. 3. 31（10年間）	29. 4. 1～39. 3. 31（10年間）

(2) 広告掲載事業

本市が所有する有形・無形の様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを行うため、広告掲載事業を行った。

- ・実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、
じん芥収集車（ラッピング広告）、ごみカレンダー、雑誌スポンサー、
倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、
伊勢フットボールヴィレッジ広告看板、庁舎モニター広告及びパネル広告

・収入金額：8,453,000円

9 シティプロモーション

本市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるよう、平成28年2月に策定した「伊勢市シティプロモーション推進計画」に従い、伊勢市のシティプロモーションを考えるワークショップの開催、伊勢をPRする国際放送番組の制作と放映、職員向け研修、サミット記念ベンチの製作を行った。

【伊勢市のシティプロモーションを考えるワークショップ】

(1) 構成

参加者延べ27名（一般2名、大学生11名、市職員14名）

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
28.11.16	・Iターン・Uターンを呼び込む情報発信等について ほか	伊勢河崎商人館 1階 角吾座
28.11.30	・Iターン・Uターンを呼び込む情報発信等について ほか	伊勢市観光文化会館 4階 会議室
29.2.1	・来年度の『伊勢市 移住・Uターン応援ガイド』の構成と内容について	伊勢市観光文化会館 4階 会議室

【国際放送番組】

(1) 番組名 Pride of Ise

(2) 放送局 NHK World TV（世界約150ヶ国で放映）

(3) 放送日時 平成28年12月9日（金）8時30分～、14時30分～、21時30分～、
平成28年12月10日（土）2時30分～【いずれも日本時間、約26分】

(4) 主な内容 伊勢の人々の誇り、伊勢のまちと伊勢神宮、外宮参道、伊勢春慶、食、
伊勢志摩の自然、おかげ横丁 ほか

【職員研修】

(1) 講師

東海大学文学部広報メディア学科教授 河井孝仁(かわいたかよし)氏

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
28.12.5	・自治体シティプロモーションの理論と実践	いせ市民活動センター北館 (シティプラザ) 1階ホール

(3) 参加者数

61名

【サミット記念ベンチの製作】

本市とサミット(先進7か国首脳会議)のつながりを観光客にPRするとともに、子どもたちの記憶に残るよう、朝熊町地内の三重県営サンアリーナ横に設置された国際メディアセンター（IMC）アネックスで使用された木材を再利用してサミット記念ベンチを製作し、主要駅や公園、学校、図書館等主要施設に設置した。

ベンチには、伊勢志摩サミットロゴマークの焼印、当地域でサミットが開催されたことを示す説明板を取り付けた。

(1) 製作個数

160脚

(2) 設置場所

67か所

※建築住宅課へ執行委任

10 伊勢志摩サミット推進事業

伊勢志摩サミット開催に対する国・県からの要請に対して、支援と協力を行うとともに、官民連携によるおもてなしの取組や本市の魅力の情報発信を行った。

(1) 伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議

伊勢志摩サミットの円滑な実施を図り、もって本市の観光振興及び地域経済の活性化に寄与するため、伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議を設置し、また下部組織としておもてなし部会、情報発信部会、安全対策推進部会を設け、各種準備・調整を行った。

・庁内調整会議開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】28. 4. 11	・本市の取組状況について ・危機管理について ・今後の予定及び庁内連携について	東庁舎 4-2 会議室
【第2回】28. 5. 13	・サミットにかかる状況について ・サミットにかかる本市の動きについて ・伊勢市情報発信センターについて ・ポストサミットにおける取組について	東庁舎 4-2 会議室
【第3回】28. 6. 23	・サミット開催期間中の取組結果等について ・サミットにかかる取組結果等の記録書の作成について ・伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議の解散について ・ポストサミットの取組促進について	東庁舎 4-2 会議室

(2) 伊勢志摩サミット開催に向けた取組

ア サミットに向けた各種準備

伊勢志摩サミットの公式行事や県民会議の行事の実施に向けた支援・協力を行った。

また、朝熊町地内の三重県営サンアリーナに国際メディアセンター（IMC）が設置されることとなったため、それに係る準備等につき協力や各種調整を行った。

【主なサミット関連行事】

分類	内容
公式行事関係	先進7か国各国首脳による神宮訪問、記念植樹
	配偶者プログラム（伊勢音頭体験、パラスポーツ体験等）
サミット関連行事	各国先遣隊歓迎レセプション
	伊勢志摩サミット三重県民会議及び外務省主催海外プレスツアー
	2016年ジュニアサミット in 三重
	2016 大学生国際会議 in 三重

イ 伊勢市情報発信センターの設置

伊勢志摩サミットの取材を予定している国内外のメディア等に、本市の魅力を伝え、自然や歴史、店舗、食、観光などの情報取材してもらい、情報発信を促進することを目的に平成28年2月1日から6月15日までの間、伊勢市情報発信センターを開設した。

独自のプレスツアーや首都圏でのプレスイベント、そして首都圏に向けての積極的なプレスリリースを実施したほか、本市の観光資源や伝統工芸、食などの地域資源をそれぞれまとめたコンテンツシートや各種パンフレットを配布・閲覧できるようにし、本市を訪れる国内外のメディア等に対して情報発信を行った。

また、市内の協力店舗からなる「プレスサポーターズ～おもてなし100～」を結成し、本市を訪れる国内外のメディア等に対して情報発信を行った。

ウ 市立の小中学生に伊勢志摩サミット啓発グッズを配布

伊勢志摩サミット開催を広く周知し、未来に記憶を留めてもらうため、サミット開催にあわせ、市立の小中学校の児童生徒に啓発グッズを配布した。

- ・配布内容：小学生 定規・鉛筆（2本）セット
- 中学生 定規・シャープペンシルセット

エ パネルの展示

市役所を訪れる市民に伊勢志摩サミット開催を広く周知するため、市役所本館1Fエレベーター前にサミット及びサミット参加国を紹介するパネル展示を行った。

オ 伊勢市ペットボトル入り水道水のPR

伊勢の水をPRするため、本市を訪れる国内外のメディア等に対して伊勢市ペットボトル入り水道水を配布した。

- ・配布先：国際メディアセンター（IMC）、警察・消防現地対策本部

(3) 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議

伊勢志摩サミットの開催を契機として、市民及び事業者の「おもてなし」の心を育むとともに、本市を訪れる方々を「おもてなし」の心を持って温かく迎えることにより、何度も訪れたくなる魅力あるまちにすることを目的として、「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」を設立し、「クリーンアップ活動」や「花いっぱいおもてなし運動」などのおもてなし事業の実施や、構成団体の取組の情報共有を行った。

(4) サミット終了後の取組

ア 国際メディアセンター（IMC）アネックスの公開への参加促進

伊勢志摩サミットの現場を次世代を担う県内の子ども達をはじめ、県民に肌で感じてもらうことを目的に、伊勢志摩サミット三重県民会議が、サミット閉幕後に期間限定で国際メディアセンター（IMC）アネックスを公開することとしたため、子ども達の国際感覚の醸成の絶好の機会ととらえ、小中学校に対し、積極的な参加を促した。

イ 伊勢志摩サミット報告書の作成

伊勢志摩サミットの記憶を後世に引き継ぐとともに、本市の今後の取組に役立てるため、サミットの準備段階から開催までの経過や取組をまとめた、「伊勢志摩サミット報告書」を作成した。

財 政 課

1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 28. 3. 17 議決	補 正 予 算 額		
		28. 7. 13 議 決	28. 10. 12 議 決	28. 12. 21 議 決
一 般 会 計	50,115,731	①32,126	②260,223	③2,406,423
特 別 会 計	国民健康保険	15,671,965		①27,533
	後期高齢者医療	2,884,987		①△3,151
	介護保険	12,838,988		①128,030
	住宅新築資金等 貸付事業	5,954		
	観光交通対策	503,121		①100,000
	土地取得	1,521,847		①289,967
	計	33,426,862		517,997
合 計	83,542,593	32,126	778,220	2,434,999

補 正 予 算 額 29. 3. 27 議 決	継続費 遞次 繰越額	繰 越 明許費 繰越額	予算総額
④△1,202,404	475,355	1,738,628	53,826,082
②△199,817			15,499,681
②20,312			2,902,148
③△118,219			12,852,993
①2,144			8,098
②76,401			679,522
②△1,192,220		70,498	690,092
△1,411,399		70,498	32,632,534
△2,613,803	475,355	1,809,126	86,458,616

(注) ○内の数字は、補正の回数を表す。

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税	9,822,548 千円
・基準財政需要額	22,938,654 千円
・基準財政収入額	14,296,669 千円
・交付基準額	8,641,985 千円
・交付決定額	9,822,548 千円
(2) 特別交付税	970,646 千円

3 市債の状況

一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計における市債の借入れの状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

会 計 名	平成 28 年度末現在
一 般 会 計	52,571,530 千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	9,554
計	52,581,084

(2) 借入状況（一般会計）

事 業 名	借 入 額	借 入 年月日	借 入 先	借入 利率	備考
市 町 村 合 併 特 例 事 業 債	千円 21,500	29. 3. 27	市有物件災害共済	% 0.01	
	115,000	29. 3. 30	市町村職員共済組合	0.01	
	302,700	29. 4. 20	市町村振興協会	0.20	
	981,000	29. 5. 30	百 五 銀 行	0.18	
	97,900	29. 5. 30	〃	0.18	前借
	1,660,400	29. 5. 30	〃	0.33	
	231,900	29. 5. 30	〃	0.33	前借
	826,600	29. 5. 30	〃	0.18	借換
水 道 事 業 出 資 債	46,800	29. 3. 30	地方公共団体金融機構	0.60	借換
漁 港 整 備 事 業 債	17,500	29. 5. 9	財 務 省	0.30	前借
緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	4,000	29. 5. 30	百 五 銀 行	0.18	前借
河 川 災 害 復 旧 事 業 債	3,200	28. 9. 6	財 務 省	0.10	借換
臨 時 財 政 対 策 債	1,845,000	29. 5. 9	〃	0.03	
計	6,153,500	—	—	—	

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区分	年度 決算	平成 28 年度		平成 27 年度		比 較	
		決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1	市 税	千円 16,828,142	% 33.0	千円 16,933,911	% 32.8	千円 △105,769	% △0.6
(1)	普通 税	15,371,484	30.1	15,469,052	30.0	△97,568	△0.6
(2)	目的 税	1,456,658	2.9	1,464,859	2.8	△8,201	△0.6
2	地方譲与税	334,737	0.7	358,187	0.7	△23,450	△6.5
3	利子割交付金	28,079	0.0	33,930	0.1	△5,851	△17.2
4	配当割交付金	68,780	0.1	115,466	0.2	△46,686	△40.4
5	株式等譲渡所得割交付金	40,459	0.1	104,958	0.2	△64,499	△61.5
6	地方消費税交付金	2,146,417	4.2	2,402,030	4.7	△255,613	△10.6
7	ゴルフ場利用税交付金	16,962	0.0	16,938	0.0	24	0.1
8	自動車取得税交付金	89,160	0.2	86,378	0.2	2,782	3.2
9	国有提供施設等所在市町村助成交付金	80,172	0.2	73,933	0.1	6,239	8.4
10	地方特例交付金	70,252	0.1	69,152	0.1	1,100	1.6
11	地方交付税	10,793,194	21.2	10,883,988	21.1	△90,794	△0.8
(1)	普通交付税	9,822,548	19.3	9,865,881	19.1	△43,333	△0.4
(2)	特別交付税	970,646	1.9	1,018,107	2.0	△47,461	△4.7
12	交通安全対策特別交付金	17,113	0.0	18,802	0.0	△1,689	△9.0
13	分担金及び負担金	939,343	1.8	1,002,226	1.9	△62,883	△6.3
14	使用料及び手数料	388,008	0.8	399,515	0.8	△11,507	△2.9
15	国庫支出金	7,010,524	13.7	6,856,578	13.3	153,946	2.2
16	県支出金	3,028,643	5.9	2,910,946	5.6	117,697	4.0
17	財産収入	131,615	0.3	125,573	0.3	6,042	4.8
18	寄附金	83,737	0.2	61,445	0.1	22,292	36.3
19	繰入金	56,738	0.1	50,893	0.1	5,845	11.5
20	繰越金	1,667,926	3.3	1,236,176	2.4	431,750	34.9
21	諸収入	1,040,339	2.0	1,085,663	2.1	△45,324	△4.2
22	市債	6,153,500	12.1	6,808,700	13.2	△655,200	△9.6
	歳入合計	51,013,840	100.0	51,635,388	100.0	△621,548	△1.2

イ 歳出（目的別）

区分	平成 28 年度		平成 27 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C)/(B)
1 議会費	千円 350,271	% 0.7	千円 380,290	% 0.8	千円 △30,019	% △7.9
2 総務費	4,440,229	8.9	4,404,759	9.0	35,470	0.8
3 民生費	17,933,466	35.9	17,334,247	35.4	599,219	3.5
4 衛生費	4,811,117	9.6	4,601,084	9.4	210,033	4.6
5 労働費	59,701	0.1	59,598	0.1	103	0.2
6 農林水産業費	882,020	1.8	809,651	1.7	72,369	8.9
7 商工費	398,103	0.8	247,665	0.5	150,438	60.7
8 観光費	557,591	1.1	551,023	1.1	6,568	1.2
9 土木費	5,164,208	10.3	4,982,154	10.2	182,054	3.7
10 消防費	2,902,337	5.8	5,187,076	10.6	△2,284,739	△44.0
11 教育費	7,002,907	14.0	4,939,007	10.1	2,063,900	41.8
12 災害復旧費	41,458	0.1	29,079	0.1	12,379	42.6
13 公債費	5,420,367	10.9	5,391,828	11.0	28,539	0.5
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	49,963,775	100.0	48,917,461	100.0	1,046,314	2.1

ウ 歳出（性質別）

区分	平成 28 年度		平成 27 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 人 件 費	千円 7,964,238	% 15.9	千円 7,720,102	% 15.8	千円 244,136	% 3.2
2 物 件 費	7,246,383	14.5	7,051,848	14.4	194,535	2.8
3 維持補修費	415,313	0.8	332,416	0.7	82,897	24.9
4 扶 助 費	10,647,236	21.3	10,027,719	20.5	619,517	6.2
5 補 助 費 等	3,365,331	6.7	3,201,038	6.5	164,293	5.1
6 普 通 建 設 費 事 業 費	6,966,163	14.0	7,633,139	15.6	△666,976	△8.7
(1) 補助事業費	2,462,051	4.9	2,435,648	5.0	26,403	1.1
(2) 単独事業費	4,365,690	8.8	5,085,596	10.4	△719,906	△14.2
(3) 事業負担金	138,422	0.3	111,895	0.2	26,527	23.7
7 災 害 復 旧 費 事 業 費	46,598	0.1	31,671	0.1	14,927	47.1
(1) 補助事業費	38,774	0.1	23,385	0.1	15,389	65.8
(2) 単独事業費	7,824	0.0	8,286	0.0	△462	△5.6
8 失 業 対 策 費 事 業 費	0	0	0	0.0	0	-
(1) 補助事業費	0	0	0	0.0	0	-
(2) 単独事業費	0	0	0	0.0	0	-
9 貸 付 金	3,990	0.0	5,540	0.0	△1,550	△28.0
10 公 債 費	5,420,367	10.9	5,391,828	11.0	28,539	0.5
11 投 資 及 び 出 資 金	278,700	0.6	57,800	0.1	220,900	382.2
12 積 立 金	160,119	0.3	139,270	0.3	20,849	15.0
13 繰 出 金	7,449,337	14.9	7,325,090	15.0	124,247	1.7
歳 出 合 計	49,963,775	100.0	48,917,461	100.0	1,046,314	2.1

エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(平成29年3月31日現在人口 128,288人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
市 税	千円 16,828,142	円 131,175	消 費 的 経 費	千円 29,638,501	円 231,031
地 方 譲 与 税	334,737	2,609	人 件 費	7,964,238	62,081
利 子 割 交 付 金	28,079	219	物 件 費	7,246,383	56,485
配 当 割 交 付 金	68,780	536	維 持 補 修 費	415,313	3,237
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	40,459	315	扶 助 費	10,647,236	82,995
地 方 消 費 税 交 付 金	2,146,417	16,731	補 助 費 等	3,365,331	26,233
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,962	132	投 資 的 経 費	7,012,761	54,664
自 動 車 取 得 税 交 付 金	89,160	695	普 通 建 設 事 業 費	6,966,163	54,301
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	80,172	625	災 害 復 旧 事 業 費	46,598	363
地 方 特 例 交 付 金	70,252	548	失 業 対 策 事 業 費	0	0
地 方 交 付 税	10,793,194	84,133	そ の 他 の 経 費	13,312,513	103,771
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,113	133	貸 付 金	3,990	31
分 担 金 及 び 負 担 金	939,343	7,322	公 債 費	5,420,367	42,252
使 用 料 及 び 手 数 料	388,008	3,025	投 資 及 び 出 資 金	278,700	2,173
国 庫 支 出 金	7,010,524	54,647	積 立 金	160,119	1,248
県 支 出 金	3,028,643	23,608	繰 出 金	7,449,337	58,067
財 産 収 入	131,615	1,026			
寄 附 金	83,737	653			
繰 入 金	56,738	442			
繰 越 金	1,667,926	13,002			
諸 収 入	1,040,339	8,109			
市 債	6,153,500	47,966			
歳 入 合 計	51,013,840	397,651	歳 出 合 計	49,963,775	389,466

5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 13,321,827	千円 1,118,132	千円 14,439,959
減 債 基 金	現 金	1,162,046	644	1,162,690
ふ る さ と 創 生 基 金	現 金	800,192	△3,325	796,867
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	0	60,000
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,562	2	10,564
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	438,897	1,006	439,903
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,990	1	7,991
地 域 福 祉 基 金	現 金	480,446	△34,753	445,693
災 害 援 護 基 金	現 金	106,445	127	106,572
中 山 間 ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 対 策 基 金	現 金	47,450	27	47,477
河 川 環 境 基 金	現 金	10,181	2	10,183
育 英 基 金	現 金	26,047	43,386	69,433
文 化 振 興 基 金	現 金	178,768	333	179,101
地 域 振 興 基 金	現 金	3,432,097	6,965	3,439,062
景 観 形 成 基 金	現 金	434,318	134	434,452
森 林 づ く り 基 金	現 金	2,598	△555	2,043
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	76,513	21,256	97,769
職 員 退 隠 料 基 金	現 金	43,498	△43,498	※－
計	現 金	20,639,875	1,109,884	21,749,759

※職員退隠料基金は平成28年4月1日をもって廃止した。なお、残余金は一般会計へ収入し、相当額を育英基金へ積み立てた。

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行事業

「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

(広告掲載件数：176件、収入金額：2,410,000円)

広 報 紙	頁 数	発 行 部 数	主 な 記 事
4月15日号	16	53,700	伊勢志摩サミット開催に向けて クリーンアップ活動&花いっぱいおもてなし運動、お知らせします3つの給付金、保存版 市の組織と主な仕事、お伊勢さん菓子博2017前売入場券の販売を開始
5月 1日号	52	53,750	対談 「出会いが欲しい」「結婚がしたい」あなたの“希望”を応援します!!、平成28年度当初予算、伊勢市芸術祭、良好な景観づくりを進めています
5月15日号	20	53,650	伊勢志摩サミット開催に向けて いよいよ伊勢志摩サミットが開催、伊勢市自主防犯団体連絡会の活動紹介、第64回 伊勢神宮奉納全国花火大会
6月 1日号	40	53,650	対談 祝・第100回 高柳の夜店「商店街から地域コミュニティを元気に!」、イギリスの首都ロンドンで伊勢の観光PRを展開!、伊勢まつり、避難情報を知っておこう!
6月15日号	20	53,600	男女共同参画週間、健康文化週間の健康づくり事業、市役所本庁舎の改修工事に伴い一部の部署が移転します
7月 1日号	52	53,550	伊勢志摩サミット開催へのご支援とご協力、ありがとうございました、対談 地元の魅力をもっと広めたい!~サミット後のまちづくりに向けて~、第2期伊勢市健康づくり指針を策定しました
7月15日号	24	53,550	「いせ健幸ポイント」が始まります!!、夏休み親子施設見学会、全国高等学校総合体育大会~伊勢市での開催種目と日程が決定~
8月 1日号	36	53,550	対談 伊勢のまちづくりは、男女共同参画から!、2016中日三重お伊勢さんマラソン、「防災図書館」で家族や友達と防災について学ぼう!、障がい者をサポートする企業・団体を募集します!
8月15日号	20	53,550	救急・災害を考える集い、ネーミングライツ・スポンサー企業等を募集します、第38回空襲展

	頁	部	
9月 1日号	40	53, 550	対談 お伊勢さん菓子博2017笑顔と幸せを運ぶお菓子が集結！、伊勢市民芸能祭、「子育て・子育てマイスター養成講座」受講者を募集、「自助」「共助」で災害に備えよう
9月15日号	20	53, 570	動物愛護週間、自然発火・着衣着火にご注意、おかげバス東大淀・日赤ルートの運行区間を山大淀（明和町）まで延長します
10月 1日号	36	53, 570	対談 里親制度の普及啓発 地域ぐるみで子どもの育ちを応援、環境フェア&2016福祉フェスティバル、別冊 おおまつりウィーク、市長との地域懇談会
10月15日号	20	53, 600	伊勢病院ふれあいまつり、伊勢市子ども未来会議を開催、ストップ！障がい者・高齢者虐待、第63回伊勢市美術展覧会の開催
11月 1日号	36	53, 600	対談 野口みずきさんの功績をたたえて、みんなで守ろう！子どもの未来、保護司ってどんな活動をしているの？、広島平和記念式典参加中学生24人の思い、市・県民税の主な税制改正について
11月15日号	24	53, 600	私らしく働くためのおしごと探し準備セミナーを開催します！、新伊勢総合病院の建設、統計調査員に登録しませんか？
12月 1日号	36	53, 580	対談 L G B T の存在を「当たり前」にしたい！、地震だ！津波だ！すぐ逃げて！、市の人事行政の運営状況を公表
12月15日号	20	53, 580	障がい者サポーター制度が始まります！、年末年始の業務案内、お伊勢さん菓子博2017お得な前売入場券を販売中！
1月 1日号	22	53, 580	新春のごあいさつ、市勢の発展に尽力された功労者を表彰、ネーミングライツ・スポンサー企業と愛称が決定
1月15日号	28	53, 580	いせファミリー・サポート・センターで子育てのお手伝いをしませんか？、「世界に発信！伊勢市短詩型文学祭」の入賞作品が決定しました、4月から市の組織が一部変わります
2月 1日号	36	53, 580	対談 地域の身近な相談役「民生委員・児童委員」、伊勢二見鳥羽ラインが全線無料化されます、沢村栄治生誕100周年記念事業を開催します、祝・成人
2月15日号	16	53, 580	伊勢市国際交流フェスティバル、にっぽん文楽in伊勢神宮
3月 1日号	36	53, 580	対談 幸せな暮らしは健康づくりから、お伊勢さん菓子博2017間もなく開幕！、いせ市民活動フェスティバル、閉校式・開校式のご案内、病児保育エンゼルのご利用を
3月15日号	20	53, 580	もうすぐ桜の季節です、「やさしいまち伊勢市」発見大賞の入賞作品を表彰、沢村栄治生誕100周年記念事業

4月 1日号	頁 36	部 53,600	特集 「お伊勢さん菓子博2017」の楽しみ方を紹介!!、いせライフセーフティネット事業が始まります、介護予防・日常生活支援総合事業補助金の交付団体を募集、こども発達支援室を開設!
--------	---------	-------------	---

○ CATV広報いせ放送事業

特集番組とお知らせ番組に分け、行政情報番組を制作し放送した。

特集番組については、タレントをリポーターとして起用し、分かりやすい番組づくりに努めた。平成24年から開始した特集番組のYouTube掲載も継続して行った。

○特集番組（毎月1日更新）

放送回数 1日8回（午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時）

月	タイトル	内容
4	平成28年度の主な事業の紹介	市長が平成28年度の事業について語る。
5	伊勢市消防本部・防災センターのご案内	平成28年2月29日に業務を開始、新しくなった伊勢市消防本部庁舎と4月1日にオープンした防災センターを紹介。
6	レポート清掃工場	私たちが出したごみや資源物がどのように処理されるのか、清掃工場をレポート。
7	歩く！貯める！交換できる!! チャレンジしよう「いせ健康ポイント」	平成28年度の新たな取り組み「いせ健康ポイント」を紹介。
8	災害時要援護者登録制度	災害時要援護者登録制度の概要、申請受付、地域における支援等を案内。
9	おかげバスのご利用を ～平成28年10月1日「東大淀・日赤ルート」延長～	おかげバスの紹介と平成28年10月1日に路線延長された「東大淀・日赤線」を紹介。
10	ふるさと未来づくり ～まちづくり協議会の取り組み～	高城まちづくりの会、城田地区まちづくり協議会の活動を紹介。
11	伊勢市のシティプロモーション	伊勢市のシティプロモーションの取り組みを紹介。
12	自転車の交通事故防止	岡っ引きのやすさんが伊勢警察署をレポート。伊勢市内で実施された「スケアードストリート（スタント実演による交通安全教育）」も取材し、交通安全啓発を行う。
1	平成29年市長インタビュー	市長が、これまでの取り組みや今後の市政運営などについて語る。
2	伊勢市の地籍調査	伊勢市における地籍調査の進捗状況と協力のお願いについて案内。
3	“岡っ引き やす” がレポート 開催間近『お伊勢さん菓子博2017』	岡っ引きのやすさんが『お伊勢さん菓子博2017』を事前レポート。

○お知らせ番組（毎週土曜日更新）

放送回数 1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内 容
4	お知らせ（春の全国交通安全運動 など） まちの話題
5	お知らせ（伊勢総合病院事務職員募集 など） まちの話題
6	お知らせ（ママ安心サポートいせ など） まちの話題
7	お知らせ（花火大会について など） まちの話題
8	お知らせ（スプレー缶の出し方変更 など） まちの話題
9	お知らせ（臨時福祉給付金申請受付 など） まちの話題
10	お知らせ（伊勢まつり など） まちの話題
11	お知らせ（市民芸能祭 など） まちの話題
12	お知らせ（年末年始の交通対策 など） まちの話題
1	お知らせ（市・県民税の申告と所得税の確定申告 など） まちの話題
2	お知らせ（お伊勢さん菓子博2017交通対策 など） まちの話題
3	お知らせ（住所変更の手続き など） まちの話題

○ インターネット情報発信事業

○伊勢市ホームページ

伊勢市ホームページに関する職員アンケート調査を実施し、アンケート結果により機能改修を行った。また、ウェブアクセシビリティに準拠したページとなるよう努め、職員向けにアクセシビリティおよび操作研修を行った。

・ページ数…4,531件（平成29年3月31日現在）

・トップページ（ホーム/伊勢市）ビュー数

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）…1,344,560件

・広告件数

8事業所・48口・501,000円（10,000円×42口、12,000円×3口、15,000円×3口）

・アクセシビリティ研修開催

日時 平成29年1月25日（水）

午前の部 午前10時00分～正午 24部署27名

午後の部 午後1時30分～3時30分 14部署19名

○広報いせfacebook・twitter

市政の情報発信補完として、平成29年1月4日から「広報いせfacebook」「広報いせtwitter」の運用を開始した。

※twitterはfacebookからの自動連携による掲載

・広報いせfacebook投稿数…67件

・広報いせfacebook閲覧回数…50,491件

・広報いせtwitter投稿数…57件

・広報いせtwitter閲覧回数…15,753件

○ 市民相談の実施

毎月、市役所広報広聴課相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、毎月、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～3時30分（先着8名）	弁護士 5名
行政	毎月第2火曜日 午後1時～3時 （二見生涯学習センター） 毎月第3火曜日 午後1時～3時 （広報広聴課相談室） 毎月第4火曜日 午後1時～3時 （小俣公民館）	行政相談委員 5名
人権	毎月第2木曜日 午後1時～4時	人権擁護委員 17名
登記	毎月第2火曜日 午後1時～4時	県司法書士会伊勢支部会員 12名
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～3時（先着4名）	NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1名
公証	毎月第1木曜日 午後1時～4時	公証人 1名

項目	区分						
	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談	計
登記	21件	0件	0件	36件	0件	0件	57件
家庭	59	0	1	0	0	0	60
相続	82	0	0	12	0	9	103
金銭	63	0	0	1	0	1	65
土地	39	1	0	5	0	0	45
福祉	6	1	0	0	0	0	7
交通事故	14	0	0	0	8	0	22
その他	118	3	2	0	0	0	123
計	402	5	3	54	8	10	482

○ 出前トークの実施

市民の視点に立った市政の推進を図るため、市の取り組む事業や施策などについて、市民からの依頼を受け、幹部職員などが直接地域へ説明に出向き、質疑応答や意見交換を通じて、これからのまちづくり等について共に考えるふれあい出前トークを実施した。

実施回数 2回 テーマ 介護保険の新総合事業、高齢者の栄養 など

申込人数 30名

○ 市民の声システム・市政への提案箱

市民ニーズや意見・要望等を把握し、政策立案に結びつけられるようにするため、市民の声登録システムを有効活用し、また、市政への提案箱、窓口などでも意見を集約した。

(市政への提案箱設置場所)

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター

部	件数	受付方法		
		市政への提案箱	インターネット	その他
	件	件	件	件
総務部	21	9	12	0
危機管理部	3	0	3	0
情報戦略局	25	9	16	0
環境生活部	28	11	17	0
健康福祉部	32	7	25	0
産業観光部	18	1	17	0
都市整備部	39	8	31	0
検査室	0	0	0	0
会計課	0	0	0	0
二見総合支所	0	0	0	0
小俣総合支所	0	0	0	0
御菌総合支所	0	0	0	0
上下水道部	0	0	0	0
教育委員会	32	9	23	0
議会事務局	14	1	13	0
選挙管理委員会事務局	7	0	7	0
監査委員事務局	0	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0	0
伊勢総合病院	7	4	3	0
消防本部	3	0	3	0
計	229	59	170	0
市民の声対象外	5	3	2	0

○ 報道機関への情報提供

報道機関との連絡を密にするため、月1回（8月を除く）市長の定例記者会見を実施した。また、適宜市政の情報を提供し、広報活動の充実に努めた。

○ 情報提供のガイドライン

市民と市との行政情報の共有を一層進めるため、「情報提供のガイドライン」に

に基づき、市民が知りたいであろう行政情報や、市が市民に知ってほしい情報、市民が入手することにより官民協働のまちづくりが期待できる情報などを市のホームページで提供している。

- ・ガイドラインに基づき提供している行政情報

市の基本計画、パブリック・コメントの状況、主要事業の概要、市長記者会見資料、市議会提出案件に関する資料、審議会・委員会などの資料、市の財政状況や予算・決算に関する資料、人事・給与に関する資料、イベント情報など15項目

- ・ガイドラインに基づく提供情報件数（平成29年3月31日現在）…1,870件